

市長所信表明

令和8年3月美馬市議会は、2月17日に開会し、加美市長が市政の重要課題への対応について、所信を表明しました。

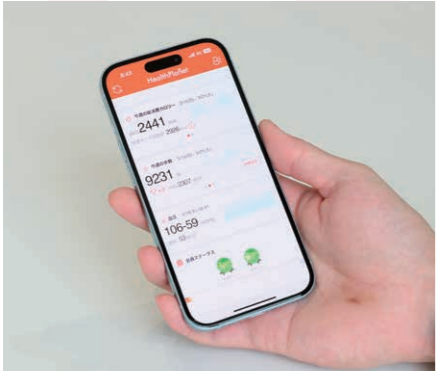
物価高騰対策について

デジタル地域通貨MIMACAによる生活支援事業については、1月19日から21日にかけて、市民一人あたり12,000円相当のポイントを進呈しました。

こうした取組に加え、令和8年度当初予算には、住宅リフォーム工事に對するMIMACAのポイント付与負担金や、こども食堂への支援金を、令和7年度補正予算には、ひとり親家庭への給付金を計上しており、引き続き、切れ目のない物価高騰対策に取り組んでいきます。

美と健康のまちづくり

本市では、コンディショニング・エクスパートの皆さんと地域おこし協力隊との連携で、コンディショニングの普及に取り組んでいますが、令和8年度は「コンディショニング・フェスタ」の開催も計画しています。また、歩数等にに応じて地域通貨MIMACAのポイントと交換できる健康ポイント事業については、今年度965名の皆さんに参加いただきました。こうした事業やジェロントロジーの普及を通じて、「人生100年時代」において生涯にわたる活躍できる基盤づくりを進めていきます。



▲健康ポイント事業で活用したアプリ

南海トラフ地震への備え

徳島県における南海トラフ地震の被害想定が13年ぶりに見直され、2月4日に公表されました。

新たな想定では、住宅の耐震化が進んだこと等により、本市の死者数や建物の全壊・焼失棟数が半減する一方、震度6強のエリアは前回想定より広がるとされています。

今後、県の見直し結果を本市の地域防災計画や備蓄計画に反映するとともに、国の補正予算を活用し、災害時に必要とされるトイレ・キッチン・ベッド、いわゆる「TKB」の充実を図る等、避難生活の質の改善に取り組めます。

大規模災害時には応援を受けるための「受援体制」の整備も重要です。昨年5月の脇・ライオンズクラブに続き、2月12日には美馬青年会議所、美馬市社会福祉協議会、本市の3者で「災害ボランティアセンターの活動支援に関する協定」を締結しました。今後も関係機関と連携し、資機材の提供や運営スタッフの確保等、「受援体制」の強化に取り組めます。

農業の振興

耕作放棄地対策については、令和6年度のモデル事業を経て、本年度から本格的に展開しており、先月末までに2.3ヘクタールの農地が再生されました。

また、地域プロジェクト・マネージャーによる「出し手」と「借り手」のマッチングとあわせ、令和8年度も引き続き、耕作放棄地の再生と発生の抑制に取り組めます。

さらに、脇町の大滝山地区に整備が計画されている大型養鶏団地への水の供給を行うため、「曾江谷営農飲雑用水施設整備事業」に着手する予定で、必要な経費を令和8年度当初予算に計上しています。

観光の振興

令和7年11月に、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションとともに、「うだつの町並み周辺におけるエリアマネジメントの推進に関する連携協定」を締結しました。この協定に基づき、株式会社風土



▲災害ボランティアセンターの活動支援に関する協定締結の様子

学校給食費の無償化

新たに創設される小学校給食費の負担軽減交付金や、物価高騰に対応するための重点支援地方交付金を活用し、本市では令和8年度から小・中学校の学校給食費を無償化します。

また、食物アレルギー等やむを得ない理由で給食を食べることができない児童・生徒についても支援を行い、物価高騰が長期化する中、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

創研が、町並みにある古民家を、宿泊や飲食、クラフトショップ等の機能を備えた施設として整備する計画であり、うだつの町並みへの誘客促進や観光消費額の増加を図るため、国の「ローカル10,000プロジェクト」を活用し、この取組を支援することとしています。

新ごみ処理施設の整備

トンネルコンポスト方式による新たな可燃ごみ処理施設の整備については、これまでに事業予定地の地域で計3回、説明会を開催しました。

令和8年度は、基本計画の策定や生活環境影響調査、事業用地の購入等を実施する予定で、これらに係る美馬環境整備組合への負担金を令和8年度当初予算に計上しています。

クリーンセンター美馬の老朽化状況も踏まえ、できるだけ早期に新施設を稼働させることができるよう、地元の人々をはじめ関係者の理解を得ながら事業を進めていきます。

また、吉野川環境整備組合の汚泥再生処理センターは、令和7年10月

教育環境の整備・充実

中学校屋内運動場の空調設備整備工事については、令和9年3月の完成を目指して工事を進めており、小学校屋内運動場の空調設備についても、令和8年度中に工事に着手できるように設計業務を進めています。

また、美馬中学校の屋内運動場は老朽化が進んでいることから、大規模改修とあわせて空調設備の整備を行う予定であり、令和8年度予算に設計業務委託料を計上しています。

児童・生徒の皆さんが快適な環境で学校生活を送ることができるようになるとともに、南海トラフ地震等大規模災害時の避難所環境の改善にもつなげていきます。

に稼働を開始し、順調に運営されています。旧吉野川浄園の建物は解体後、防災公園として整備する予定で、そのための経費を令和8年度予算に計上しています。防災公園の完成は令和10年度末を予定しており、吉野川浄園の跡地が地域の皆さんの安全・安心の拠点となるよう、着実に取り組んでいきます。

美馬市長 加美一成

